

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和6年1月4日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。














1. 概要

企業・団体名	株式会社 横浜港国際流通センター
所在地	〒230-0054 神奈川県横浜市鶴見区大黒ふ頭22番
代表者役職・氏名	代表取締役社長 中野 創
担当者連絡先	電話：045-510-2000
	メール：info@yokohama-cargo-center.jp
ウェブサイトURL	https://www.yokohama-cargo-center.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>輸入促進を目的としたFAZ法（輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法）により、総合保税地域（保税蔵置、保税工場、保税展示）の指定を受けた国内4施設のうちの一つである「横浜港流通センター」の運営管理を行なう法人として設立。</p> <p>平成8年に開業した「横浜港流通センター」は、大黒ふ頭の先端部に位置し、約92,600㎡の敷地に物流棟（区分所有22区画、賃貸33区画）、事務所棟（71区画）の2棟を合わせ、延床面積約32万㎡を有する、我が国最大級の総合物流施設となっています。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	国の目標である2030年に、2013年から46%削減に向け、自社施設から排出される温室効果ガスを削減する。	自社が使用する電力の再エネ化 【2023年】約30% 【目標】100%
□環境 ✓社会 ✓経済	物流業界及び物流施設における就労者の採用、定着、育成の向上を図るため、女性も働きやすい職場環境整備の一環として、当社施設内に女性専用施設を整備し提供する。	休憩のほか、着替えやメイク等もできる快適な女性専用施設を整備 【2023年】なし（男女兼用休憩室のみ） 【目標】女性専用ラウンジ等1か所以上提供
□環境 □社会 □経済		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・PCB使用している機器がないことを把握。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・施設内のトイレや食堂に節水型自動水栓や節水バルブを取付。						6.4											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・DBJ Green Building 認証を取得			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・会社のウェブサイトや中期経営計画、事業報告書においてSDGsへの取組情報を掲載。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	2022年は使用電力見込量の10%相当分のグリーン電力を購入し、2023年は使用電力見込量の30%相当分の非化石証書を購入。 ・施設内に太陽光発電設備や自立型水素燃料電池システムを設置し運用。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・長期修繕計画に基づき適切な維持補修を実施。 ・災害対応設備(緊急地震速報、止水板設置)の導入。 ・暴風、津波・高潮への対応について、入居者と確認。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

